

## 議 事 要 旨

会議名	令和6年度 第1回福生市環境審議会
日 時	令和6年8月19日（月）午前10時30分～正午
場 所	もくせい会館 201 会議室
出席者	委員等 池田委員、上村委員、千葉委員、野村委員、島瀬委員、古屋委員、山下委員
	事務局 田村生活環境部長、岸野環境政策課長、青島環境政策係長、阿部主任
欠席者	小倉委員、田村委員、横田委員
議 題	<p>(1) 福生市環境基本計画実行計画（令和5年度実行計画）実施状況について</p> <p>(2) 第2次福生市環境基本計画実行計画（令和6年度実行計画）について</p> <p>(3) 令和6年度の開催予定について</p> <p>(4) その他</p>
公開・非公開の別	公開
配布資料	<p>資料1 福生市環境基本計画実行計画(令和5年度計画)実施評価一覧</p> <p>資料2 福生市環境基本計画実行計画（令和5年度実行計画）実施状況</p> <p>資料3 第2次福生市環境基本計画実行計画（令和6年度計画）</p>
会議内容	<p><b>(1) 福生市環境基本計画実行計画（令和5年度実行計画）実施状況について</b></p> <p><b>【事務局より説明（概要）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境基本計画推進のため、実行計画の確認調査を行った。</li> <li>○ 実施評価は78事業中80.8%にあたる63事業が「実施できた」のA評価。「おおむね実施できた」のB評価は13事業で16.7%。「やや実施できた」のC評価は該当なし。「未実施」のD評価は2事業で2.5%。</li> <li>○ 令和5年5月から5類感染症となったコロナウイルス感染症の影響はほとんどなく、9割以上の事業で推進がみられた。</li> <li>○ 環境基本計画実行計画令和5年度実施状況については、評価に動きがあった事業、良い影響があった事業を中心に説明。</li> </ul> <p><b>【質疑】</b></p> <p>(委員)</p> <p>No. 39の事業「市民農園管理事務」において、希望者には概ね貸し出しできているのか。</p> <p>No. 67の事業「風水害への備え」において、出前講座は良いことだが、</p>

市民への周知の状況は。

No. 71 の事業「学習指導市民講師による指導」の活用がなかった理由は。

(事務局)

市民農園は市内に7か所あるが、外国人の方を含め多くの方が抽選待ちとなっているような場所もある。ほかの活用場所の調査をしながら、より充足出来るように努めていく。

出前講座はHPや広報で周知をしているが活用に繋がらなかった。

市民講師は学校において年間カリキュラムを組んでおり、伝統文化などの学習教育を行っているが、令和5年度は環境分野の実施がなかった。

(委員)

No. 10「河川一斉清掃」は年に1回しかやらないのか。

(事務局)

1回の予定だが、ありがたいことに近年は大勢集まってくれただけのごみが落ちていない状況。今後の状況に注視していきたい。

(委員)

No.14. 16. 65. 66「保存樹林地等の指定等」や「生垣の設置補助等」の各事業で生垣や植栽ますの管理というのは推進していただいているが、植樹そのもので増やす方の事業はあまりないように見受けられるがいかがか。

(事務局)

多摩川の土手沿いの桜であれば老木化、虫食いにより伐木せざるを得ないが土地は国土交通省管理のため植えるのに調整が必要となる。公園は高木化のため間伐をしながら全体を見て管理している。切った分新しい木を植えるという訳ではないが、市民要望も鑑み低木の植樹など検討している。

(委員)

No. 37「住宅や事業所などの緑化」において、指導要綱に基づく指導とはどういったものか。

(事務局)

マンション等の開発時に一定規模の緑地を設ける必要があるため指導を行っている。

(委員)

No. 10「河川一斉清掃」だが、雨天中止でD評価というのは、いささか酷である。評価の仕方を見直してもいいのではないか。

(事務局)

新型コロナウイルスの影響があり実施できなかった時は一という項目を設けていた。今後見直しをしていきたい。

(委員)

先ほど、別の委員から質問のあった植樹について、苦情などデメリットにばかり目がいつてしまっているのではないか。木陰の恩恵などメリットを普及啓発できると良い。

(事務局)

今後、周知や意識調査など考えていきたい。

(委員)

No.18「外来生物防除」には該当しないが、最近イノシシの出没が増えている。今後の対策が重要になってくるが市はどう考えているか。

(事務局)

都の鳥獣保護管理委員や専門的な事業者に相談しており、看板の設置などをしながら今後の対策を協議している。

(委員)

全体的に環境学習に関して遅れているように感じる。ごみの捨て方など、先程のイノシシ問題にも通ずる所があると思うので普及啓発に力を入れて欲しい。

## (2) 第2次福生市環境基本計画実行計画（令和6年度実行計画）について

### 【事務局より説明（概要）】

- 昨年度末改定。従来と様式を変更し事業の具体的な中身がより見えるようにした。
- 計画期間は10年間とし、おおむね5年をめぐりに中間評価を実施
- 大きく5つの分類に分け、「気候変動への対策」で23事業、「生物多様性の保全・回復」で23事業、「循環型社会づくり」で9事業、「安全安心な生活環境」で12事業、「人材育成と参画」で7事業の計74事業を定めた。

### 【質疑】

(委員)

3(2)①「ECO FRIENDLY 認証店等への普及啓発」において、認証店の数は何件あるのか。

3(3)「資源の確実なリサイクル」において、資源化のルートが今現在で不足しているのか。今後足りなくなる見込みなのか。

(事務局)

5つの分類に別れており、令和6年7月1日時点で、食べる19、買う20、参加する9、サービス23、その他5の団体の登録がある。

今現在不足している訳ではない。ペット to ペットなどの新たなルートを確立したいと考えている。

(委員)

2 (2) ③「湧水地点水質調査」はPFASの調査を含むのか。

(事務局)

PFASは水質の検査基準ではないが、市民の不安を払拭するため、別に予算を取り調査を行い、国の定める暫定目標値を下回った。今年度も行う予定だが、この事業とは別の事業となる。

(委員)

新しい計画も緑に関して、維持管理という言葉が多く見える。市で出来る範囲で増やしていくというような事業を実施していただきたい。

(事務局)

来年度以降に向けて検討していく。

(委員)

全体を通して、緑化やごみの各問題は全て気候変動に繋がっている。どれだけの市民がその動機付けが出来ているかが大事になってくるため、そういった事を意識した運用をして欲しい。

(事務局)

しっかりと意識の醸成を図っていききたい。良いお知恵があれば今後御助言いただきたい。

(委員)

再生可能エネルギーについて、子ども達を中心に普及啓発して欲しい。

(事務局)

再生可能エネルギーの活用については大きな課題と捉えている。今後も調査・研究を重ねて脱炭素に向けて進みたい。

### (3) 令和6年度の開催予定について

(事務局)

計画の初年度であることから今年度は今回の会議のみの開催といたしたい。また、来年度は委員の任期満了となるが、一人でも多くの方に今後とも審議会に関わっていただけると大変ありがたい。

### (4) その他

なし